

【鳥取県の全体目標】 がんによる死亡者の減少 75歳未満がん年齢調整死亡率(人口10万対)を**61.0未満**とする (令和10年度まで) (男女別の目標値 男性：74.0未満 女性：46.0未満)
 【中期目標】 がんと診断された時から患者と家族が抱える様々な苦痛に対する適切な緩和ケアを提供できる体制を整備する。

前年度の目標	①院内外・多職種を対象にした医療従事者の基本的緩和ケアに関する教育を継続する。 ②緩和ケアを必要とする患者・家族に適切な緩和ケアが提供できる体制を構築する。 ③緩和ケアに精通した医療スタッフの育成を行う。	
	前年度Plan	前年度Act
	<p>①院内外・多職種を対象にした医療従事者の基本的緩和ケアに関する教育 (緩和ケア研修の多職種参加推進(PEACE研修含む), 看護師向けの研修"ELNEC-J"開催, 地域医療機関向けの緩和ケア研修開催)</p> <p>②緩和ケアを必要とする患者・家族に適切な緩和ケアが提供できる体制構築 (緩和ケアの提供体制の整備, 緩和ケアチーム紹介の適切性の評価, 緩和ケアチーム紹介方法の見直し, 地域医療機関との連携強化, 市民に対する緩和ケア啓発)</p> <p>③緩和ケアに精通した医療スタッフの育成 (緩和ケアを専門とするスタッフの育成, リンクナースの育成・機能強化, 多職種カンファレンス開催)</p>	<p>①緩和ケア研修会(PEACE研修)には医師以外に看護師や薬剤師等、多職種が参加しているが、参加者は平均12名と少数に留まり、医師以外の職種の参加数が伸び悩む状況は続いている。県内における開催方法について検討しても良いかもしれない。</p> <p>その他の多職種研修は、各施設で企画・実施できている。自施設開催が困難な場合も他施設の研修に積極的に参加することができている。緩和ケアの普及啓発のための研修は継続して実施することが望まれる。</p> <p>②各病院で基本的緩和ケア提供体制は整備できている。院内の状況を見極めながら実働に合わせた緩和ケアの提供を継続していくことが望まれる。地域医療構想が進む中で、病院だけでなく、地域でも切れ目なく緩和ケアが提供できる体制を整えるためにも地域医療機関に対する教育および支援体制の構築は拠点病院の課題として取り組んでいくことが求められる。</p> <p>③殆どの病院で新たな専門スタッフは育成できていない。緩和ケアを専門とするスタッフの育成は引き続き県内全体の課題である。</p>

今年度の目標	①県内における緩和ケア提供体制の指標作成 ②指標に基づいたデータ収集・報告 ③目標値設定(中間期) ④評価と次年度以降の各施設における課題抽出			
	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検・評価)	Act(処置・改善)
	<p>①県内における緩和ケア提供体制の指標作成</p> <p>②指標に基づいたデータ収集・報告</p> <p>③目標値設定(中間期)</p> <p>④評価と次年度以降の各施設における課題抽出</p>			